



市内で六番目の消防分署、富士見台分署が完成。七月七日落成式が行われました。

建設場所は、富士見台一丁目。総事業費約八千三百万円がかけられました。

同分署の対象地域は、富士見台団地、今泉北部、大淵ほか、原田、吉永の一部です。

今後、対象地域内で火災が発生した場合、いち早く消火態勢を取ることができそうです。

この富士見台分署建設にあたっては、今まで、同団地内には「公共の建物は建設できない」という建築協定がありましたが、住民全部の賛同を得ることによって建築協定を改定しました。

# 富士見台に消防分署が完成

## 半径2キロ以内は、5分以内で到着

富士見台分署には、分署長以下13人の職員を配置します。

建物は、鉄筋コンクリート造り2階建て、延床面積377平方メートルです。水そう付消防自動車一台を配備。

分署が建設された富士見台団地は、現在、1,800世帯6,200人が住んでいるマンモス団地で、周辺には、神戸・原田・吉永地区があります。

この分署が完成したことによって、同団地及び周辺地域の防災態勢がよ

り強化されたこととなります。

分署を中心とした半径2キロ以内は、5分以内に消火活動が可能となりました。

「消火は初めの5分」といわれるように、初期消火が最も大切です。

富士見台地区の佐野茂夫連合町

内会長は、「このような立派な消防署ができて大変うれしく思います。場所的にもよく、団地に住む人たちの50歳は、この分署の前を通勤や通学で通るので、防火意識の向上にもつながるでしょう」と喜びの感想を話していました。

しかし、いくら立派な消防署ができて、火災を出すのも防ぐのもあなたの心掛け次第です。



佐野茂夫さん

## グループ訪問④

# 美しい発声をめざして

## コールブーケ富士

空家の小さな民家に不似合いなグランドピアノの前で、指導の小塚寿子さんのキビキビした声のとぶ。

さっきから呼吸法や発声練習ばかり続いて、なかなかコーラスが始まらない。それもそのはず、美しいハーモニーを特色としているからだ。「腹式呼吸はよい声を出すだけでなく、内臓にもいいし、喘息気味の人だって治ってしまうのヨ」

先頃、県内の大きな発表会に初出演し好評を得たこともあってか、話す声まで明るい。

昭和48年に伝法小PTA活動から独立して8年。吉原・今泉の女性も加わって、週1回の練習が地道に続いている。

この秋には市文化祭と県芸術祭に



ピアノを囲んで発声練習

出演しようと、20人の団員がはりきっている。もう少し団員を増やしたいという。初心者大歓迎とのこと。

連絡先 ☎51-5261 木村とし宅